

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山梨県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	北病院	3
甲府市	甲府病院	4
富士吉田市	国保市立病院	5
都留市	都留市立病院	6
山梨市	牧丘病院	7
大月市	中央病院	8
韮崎市	国保市立病院	9
北杜市	塩川病院	10
北杜市	甲陽病院	11
上野原市	上野原市立病院	12
甲州市	勝沼病院	13
身延町早川町国民健康保険病院一部組合	飯富病院	14
峡南医療センター企業団	市川三郷病院	15
峡南医療センター企業団	富士川病院	16

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名		中央病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	809,974	
決算規模(千円)	545,069,002	
標準財政規模(千円)	274,969,974	
財政力指数	0.40292	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	164.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	-		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名		北病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	809,974	
決算規模(千円)	545,069,002	
標準財政規模(千円)	274,969,974	
財政力指数	0.40292	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	164.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	108.5
材料費	-	-	27.1	9.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	1.4
減価償却費	-	-	8.6	12.6
経費	-	-	22.0	34.8
(うち委託料)	-	-	11.8	15.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	2.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	95.5
医業収支比率	-		83.9	60.3
修正医業収支比率	-		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	-		81.6	61.5

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 山梨県	
市町村・組合名	甲府市				
病院名	甲府病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,066 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	393	67.9	65.0	59.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	399	66.8	64.0	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.0	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	189,591	
決算規模(千円)	89,478,327	
標準財政規模(千円)	46,496,323	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	6.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,316,446			
1 経常収益	9,257,916			
(1) 医業収益	8,346,642			
(うち修正医業収益)	7,979,338			
入院収益	5,389,540			
外来収益	2,354,818			
診療収入計	7,744,358			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	602,284			
(うち他会計負担金)	367,304			
(2) 医業外収益	911,274			
(うち国・都道府県補助金)	15,989			
(うち他会計補助・負担金)	611,607			
(うち長期前受金戻入)	238,680			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	58,530			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,464,530			
2 経常費用	9,464,530			
(1) 医業費用	8,957,354			
職員給与費	4,939,911	59.2	60.8	61.3
材料費	1,778,483	21.3	27.1	26.2
(うち薬品費)	887,867	10.6	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	890,616	10.7	11.8	11.2
減価償却費	366,902	4.4	8.6	8.5
経費	1,841,513	22.1	22.0	21.8
(うち委託料)	1,127,603	13.5	11.8	11.9
研究研修費	23,093			
資産減耗費	7,452			
(2) 医業外費用	507,176			
(うち支払利息)	72,904	0.9	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-206,614			
純損益	-148,084			
累積欠損金	9,857,891			
経常収支比率	97.8		93.0	92.2
医業収支比率	93.2		83.9	84.6
修正医業収支比率	89.1		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	87.5		81.6	82.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	11,152,872
1 固定資産	9,620,945
(1) 有形固定資産	9,612,369
(2) 無形固定資産	2,273
(3) 投資その他の資産	6,303
2 流動資産	1,531,927
(1) 現金及び預金	79,604
(2) 未収金及び未収収益	1,344,059
(3) 貸倒引当金()	5,703
(4) 貯蔵品	113,967
3 繰延資産	-
負債合計	8,928,084
1 固定負債	3,982,929
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,023,478
(2) その他の企業債	325,781
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,200,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	433,670
2 流動負債	1,905,398
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	787,387
(2) その他の企業債	34,113
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	316,495
(6) リース債務	69,926
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	655,974
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,039,757
(1) 長期前受金	6,455,469
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,415,712
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,224,788
1 資本金	11,981,249
2 剰余金	-9,756,461
(1) 資本剰余金	101,430
(2) 利益剰余金	-9,857,891
負債・資本合計	11,152,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	978,911	978,911
資本勘定繰入	564,572	564,572
計	1,543,483	1,543,483

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	118.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	富士吉田市				
病院名	国保市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,358 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救 感 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	256	74.7	72.4	66.5
療養	50	53.8	50.6	47.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	19.2	20.0
計	310	70.3	68.2	62.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.2	9.5

設立団体の状況	
人口(人)	46,530
決算規模(千円)	38,496,122
標準財政規模(千円)	11,787,041
財政力指数	0.67
経常収支比率(%)	86.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,375,821			
1 経常収益	8,231,387			
(1) 医業収益	7,281,686			
(うち修正医業収益)	7,138,360			
入院収益	4,673,619			
外来収益	2,142,057			
診療収入計	6,815,676			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	466,010			
(うち他会計負担金)	143,326			
(2) 医業外収益	949,701			
(うち国・都道府県補助金)	11,286			
(うち他会計補助・負担金)	589,650			
(うち長期前受金戻入)	320,947			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	144,434			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,592,218			
2 経常費用	8,592,218			
(1) 医業費用	8,149,090			
職員給与費	4,180,458	57.4	60.8	61.3
材料費	1,801,422	24.7	27.1	26.2
(うち薬品費)	950,213	13.0	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	845,232	11.6	11.8	11.2
減価償却費	598,022	8.2	8.6	8.5
経費	1,538,236	21.1	22.0	21.8
(うち委託料)	1,017,008	14.0	11.8	11.9
研究研修費	22,171			
資産減耗費	8,781			
(2) 医業外費用	443,128			
(うち支払利息)	48,452	0.7	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-360,831			
純損益	-216,397			
累積欠損金	1,032,351			
経常収支比率	95.8		93.0	92.2
医業収支比率	89.4		83.9	84.6
修正医業収支比率	87.6		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.1		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	87.3		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	10,094,709
1 固定資産	7,477,087
(1) 有形固定資産	7,474,323
(2) 無形固定資産	2,764
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,617,622
(1) 現金及び預金	1,211,709
(2) 未収金及び未収収益	1,321,264
(3) 貸倒引当金()	12,734
(4) 貯蔵品	97,383
3 繰延資産	-
負債合計	7,933,804
1 固定負債	4,745,064
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,898,839
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,514,496
(6) リース債務	331,729
2 流動負債	1,326,462
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	359,398
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	266,911
(6) リース債務	130,995
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	548,957
(9) 前受金及び前受収益	20,201
3 繰延収益	1,862,278
(1) 長期前受金	10,742,977
(2) 長期前受金収益化累計額()	8,880,699
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,160,905
1 本金	3,148,272
2 剰余金	-987,367
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-987,367
負債・資本合計	10,094,709
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,333,564	732,976
資本勘定繰入	207,024	207,024
計	1,540,588	940,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	都留市		
病院名	都留市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,695 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	140	57.9	58.2	56.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	57.9	58.2	56.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	13.3	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	31,016	
決算規模(千円)	19,030,322	
標準財政規模(千円)	10,114,542	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,661,142			
1 経常収益	3,661,142			
(1) 医業収益	2,372,397			
(うち修正医業収益)	2,238,398			
入院収益	1,177,703			
外来収益	952,883			
診療収入計	2,130,586			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	241,811			
(うち他会計負担金)	133,999			
(2) 医業外収益	1,288,745			
(うち国・都道府県補助金)	5,064			
(うち他会計補助・負担金)	627,058			
(うち長期前受金戻入)	153,979			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,876,250			
2 経常費用	3,876,250			
(1) 医業費用	3,190,783			
職員給与費	1,879,260	79.2	60.8	69.3
材料費	415,588	17.5	27.1	18.4
(うち薬品費)	189,132	8.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	205,957	8.7	11.8	9.1
減価償却費	331,555	14.0	8.6	10.8
経費	556,921	23.5	22.0	29.9
(うち委託料)	317,553	13.4	11.8	13.7
研究研修費	5,700			
資産減耗費	1,759			
(2) 医業外費用	685,467			
(うち支払利息)	5,856	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-215,108			
純損益	-215,108			
累積欠損金	933,784			
経常収支比率	94.5		93.0	91.6
医業収支比率	74.4		83.9	77.4
修正医業収支比率	70.2		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	32.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	20.8		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	74.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,408,685
1 固定資産	3,431,318
(1) 有形固定資産	3,431,318
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	977,367
(1) 現金及び預金	232,445
(2) 未収金及び未収収益	486,123
(3) 貸倒引当金()	6,165
(4) 貯蔵品	264,964
3 繰延資産	-
負債合計	3,124,062
1 固定負債	1,666,389
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	867,389
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	799,000
(6) リース債務	-
2 流動負債	670,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,100
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	148,902
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	289,103
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	787,568
(1) 長期前受金	2,905,948
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,118,380
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,284,623
1 資本金	1,415,723
2 剰余金	-131,100
(1) 資本剰余金	367,613
(2) 利益剰余金	-498,713
負債・資本合計	4,408,685
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	766,979	761,057
資本勘定繰入	116,523	49,953
計	883,502	811,010

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	山梨市		
病院名	牧丘病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,458 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	49.8	50.5	53.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	49.8	50.5	53.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	20.4	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	33,435	
決算規模(千円)	28,621,601	
標準財政規模(千円)	10,767,134	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	34,610			
1 経常収益	34,610			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	34,610			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	34,179			
(うち長期前受金戻入)	431			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	34,179			
2 経常費用	34,179			
(1) 医業費用	4,177			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	4,177	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	30,002			
(うち支払利息)	2	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	431			
純損益	431			
累積欠損金	34,809			
経常収支比率	101.3		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	98.8		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	98.8		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	1.3		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	427,133
1 固定資産	383,899
(1) 有形固定資産	383,899
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	43,234
(1) 現金及び預金	43,234
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,525
1 固定負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,205
(1) 長期前受金	6,431
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,226
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	423,608
1 資本金	458,417
2 剰余金	-34,809
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-34,809
負債・資本合計	427,133
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,177	34,179
資本勘定繰入	574	574
計	4,751	34,753

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	大月市		
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	22,512	
決算規模(千円)	14,295,322	
標準財政規模(千円)	7,932,391	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.0
	将来負担比率(%)	60.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	-		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	韮崎市		
病院名	国保市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,272 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	22	指定病院の状況	救 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	137	66.8	70.9	61.8
療養	18	49.5	51.3	54.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	64.8	67.0	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	17.5	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	29,067	
決算規模(千円)	19,968,486	
標準財政規模(千円)	9,205,633	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	87.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,688,177			
1 経常収益	2,675,711			
(1) 医業収益	2,384,990			
(うち修正医業収益)	2,282,753			
入院収益	1,455,862			
外来収益	777,755			
診療収入計	2,233,617			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	151,373			
(うち他会計負担金)	102,237			
(2) 医業外収益	290,721			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	187,735			
(うち長期前受金戻入)	76,492			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,466			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,919,150			
2 経常費用	2,912,259			
(1) 医業費用	2,807,438			
職員給与費	1,640,966	68.8	60.8	69.3
材料費	468,861	19.7	27.1	18.4
(うち薬品費)	192,688	8.1	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	248,021	10.4	11.8	9.1
減価償却費	156,428	6.6	8.6	10.8
経費	534,524	22.4	22.0	29.9
(うち委託料)	323,815	13.6	11.8	13.7
研究研修費	3,298			
資産減耗費	3,361			
(2) 医業外費用	104,821			
(うち支払利息)	7,108	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	6,891			
経常損益	-236,548			
純損益	-230,973			
累積欠損金	1,050,532			
経常収支比率	91.9		93.0	91.6
医業収支比率	85.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	81.3		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.2		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	81.9		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,977,535
1 固定資産	1,288,178
(1) 有形固定資産	1,257,639
(2) 無形固定資産	2,263
(3) 投資その他の資産	28,276
2 流動資産	689,357
(1) 現金及び預金	307,452
(2) 未収金及び未収収益	354,461
(3) 貸倒引当金()	995
(4) 貯蔵品	28,439
3 繰延資産	-
負債合計	1,939,267
1 固定負債	1,242,461
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	680,362
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	538,564
(6) リース債務	23,535
2 流動負債	412,030
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	131,132
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	110,702
(6) リース債務	11,660
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,771
(9) 前受金及び前受収益	1,765
3 繰延収益	284,776
(1) 長期前受金	1,097,827
(2) 長期前受金収益化累計額()	813,051
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	38,268
1 資本金	602,839
2 剰余金	-564,571
(1) 資本剰余金	203,655
(2) 利益剰余金	-768,226
負債・資本合計	1,977,535
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	289,972	289,972
資本勘定繰入	71,768	71,768
計	361,740	361,740

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	北杜市				
病院名	塩川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,228 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	54	88.2	85.0	83.8
療養	54	83.8	80.9	81.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	108	86.0	82.9	82.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	19.6	21.1

設立団体の状況		
人口(人)	44,053	
決算規模(千円)	33,223,756	
標準財政規模(千円)	19,704,533	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,189,842				
1 経常収益	2,189,842				
(1) 医業収益	1,495,428				
(うち修正医業収益)	1,450,649				
入院収益	935,090				
外来収益	452,059				
診療収入計	1,387,149				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	108,279				
(うち他会計負担金)	44,779				
(2) 医業外収益	694,414				
(うち国・都道府県補助金)	4,456				
(うち他会計補助・負担金)	179,095				
(うち長期前受金戻入)	129,731				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,320,668				
2 経常費用	2,320,532				
(1) 医業費用	1,855,168				
職員給与費	996,460	66.6	60.8	69.3	
材料費	263,627	17.6	27.1	18.4	
(うち薬品費)	115,725	7.7	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	147,652	9.9	11.8	9.1	
減価償却費	179,578	12.0	8.6	10.8	
経費	403,804	27.0	22.0	29.9	
(うち委託料)	182,665	12.2	11.8	13.7	
研究研修費	2,320				
資産減耗費	9,379				
(2) 医業外費用	465,364				
(うち支払利息)	21,349	1.4	0.9	1.0	
(3) 特別損失	136				
経常損益	-130,690				
純損益	-130,826				
累積欠損金	256,457				
経常収支比率	94.4		93.0	91.6	
医業収支比率	80.6		83.9	77.4	
修正医業収支比率	78.2		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	10.2		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	84.7		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)		
区分	決算額	
資産合計	6,450,477	
1 固定資産	3,955,684	
(1) 有形固定資産	3,366,940	
(2) 無形固定資産	504	
(3) 投資その他の資産	588,240	
2 流動資産	2,494,793	
(1) 現金及び預金	1,880,135	
(2) 未収金及び未収収益	527,101	
(3) 貸倒引当金()	18,810	
(4) 貯蔵品	37,067	
3 繰延資産	-	
負債合計	4,325,412	
1 固定負債	1,990,728	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,962,035	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	28,693	
(6) リース債務	-	
2 流動負債	752,719	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	435,197	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	172,194	
(6) リース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	140,739	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	1,581,965	
(1) 長期前受金	4,867,242	
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,285,277	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	2,125,065	
1 本金	973,920	
2 剰余金	1,151,145	
(1) 資本剰余金	176,642	
(2) 利益剰余金	974,503	
負債・資本合計	6,450,477	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	223,874	223,874
資本勘定繰入	143,341	145,561
計	367,215	369,435

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	北杜市		
病院名	甲陽病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,220 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	17	指定病院の状況	救感輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	86	55.2	53.5	43.8
療養	32	91.3	89.7	96.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	4.5	310.3
計	122	62.9	61.4	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	20.8	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	44,053	
決算規模(千円)	33,223,756	
標準財政規模(千円)	19,704,533	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,489,601			
1 経常収益	1,489,601			
(1) 医業収益	1,322,519			
(うち修正医業収益)	1,281,134			
入院収益	706,273			
外来収益	509,664			
診療収入計	1,215,937			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	106,582			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	167,082			
(うち国・都道府県補助金)	1,409			
(うち他会計補助・負担金)	65,379			
(うち長期前受金戻入)	95,103			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,766,348			
2 経常費用	1,766,348			
(1) 医業費用	1,704,013			
職員給与費	1,004,560	76.0	60.8	69.3
材料費	229,917	17.4	27.1	18.4
(うち薬品費)	118,585	9.0	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	111,332	8.4	11.8	9.1
減価償却費	140,885	10.7	8.6	10.8
経費	322,436	24.4	22.0	29.9
(うち委託料)	190,391	14.4	11.8	13.7
研究研修費	2,741			
資産減耗費	3,474			
(2) 医業外費用	62,335			
(うち支払利息)	11,545	0.9	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-276,747			
純損益	-276,747			
累積欠損金	-			
経常収支比率	84.3		93.0	91.6
医業収支比率	77.6		83.9	77.4
修正医業収支比率	75.2		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	78.3		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,450,477
1 固定資産	3,955,684
(1) 有形固定資産	3,366,940
(2) 無形固定資産	504
(3) 投資その他の資産	588,240
2 流動資産	2,494,793
(1) 現金及び預金	1,880,135
(2) 未収金及び未収収益	527,101
(3) 貸倒引当金()	18,810
(4) 貯蔵品	37,067
3 繰延資産	-
負債合計	4,325,412
1 固定負債	1,990,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,962,035
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,693
(6) リース債務	-
2 流動負債	752,719
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	435,197
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	172,194
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	140,739
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,581,965
(1) 長期前受金	4,867,242
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,285,277
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,125,065
1 本金	973,920
2 剰余金	1,151,145
(1) 資本剰余金	176,642
(2) 利益剰余金	974,503
負債・資本合計	6,450,477
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	106,764	106,764
資本勘定繰入	109,263	109,263
計	216,027	216,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	上野原市				
病院名	上野原市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,542 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	135	57.5	54.1	49.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	135	57.5	54.1	49.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	17.3	17.4

設立団体の状況		
人口(人)	22,669	
決算規模(千円)	11,899,999	
標準財政規模(千円)	7,648,929	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	13.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	252,445			
1 経常収益	252,419			
(1) 医業収益	74,521			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,521			
(うち他会計負担金)	74,521			
(2) 医業外収益	177,898			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	163,072			
(うち長期前受金戻入)	13,799			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	379,117			
2 経常費用	379,117			
(1) 医業費用	376,500			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	152,411	204.5	8.6	10.8
経費	219,632	294.7	22.0	29.9
(うち委託料)	202,645	271.9	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	4,457			
(2) 医業外費用	2,617			
(うち支払利息)	2,617	3.5	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-126,698			
純損益	-126,672			
累積欠損金	126,672			
経常収支比率	66.6		93.0	91.6
医業収支比率	19.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	94.1		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	318.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	94.1		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	3.9		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,370,569
1 固定資産	2,182,161
(1) 有形固定資産	2,139,055
(2) 無形固定資産	1,301
(3) 投資その他の資産	41,805
2 流動資産	188,408
(1) 現金及び預金	186,816
(2) 未収金及び未収収益	1,592
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,451,738
1 固定負債	854,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	854,613
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	116,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,165
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	982
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	480,606
(1) 長期前受金	882,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	402,276
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	918,831
1 資本金	1,023,342
2 剰余金	-104,511
(1) 資本剰余金	14,061
(2) 利益剰余金	-118,572
負債・資本合計	2,370,569
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,593	237,593
資本勘定繰入	36,707	36,707
計	274,300	274,300

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	170.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	甲州市				
病院名	勝沼病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,991 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	39	75.0	73.0	64.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	39	75.0	73.0	64.6
平均在院日数(一般病床のみ)		58.8	57.0	47.1

設立団体の状況		
人口(人)	29,237	
決算規模(千円)	22,813,798	
標準財政規模(千円)	10,425,587	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	26.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,326			
1 経常収益	23,326			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	23,326			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	18,069			
(うち長期前受金戻入)	5,223			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,127			
2 経常費用	23,127			
(1) 医業費用	20,762			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	18,795	-	8.6	13.4
経費	1,967	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,365			
(うち支払利息)	434	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	199			
純損益	199			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	77.5		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	77.5		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	22.7		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	513,733
1 固定資産	447,800
(1) 有形固定資産	381,424
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,376
2 流動資産	65,933
(1) 現金及び預金	65,933
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	70,464
1 固定負債	22,791
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,791
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	5,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,271
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	42,402
(1) 長期前受金	113,586
(2) 長期前受金収益化累計額()	71,184
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	443,269
1 資本金	354,507
2 剰余金	88,762
(1) 資本剰余金	66,376
(2) 利益剰余金	22,386
負債・資本合計	513,733
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	13,814	18,069
資本勘定繰入	8,533	8,533
計	22,347	26,602

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	身延町早川町国民健康保険病院一部組合				
病院名	飯富病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,995 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	53.2	35.6	42.1
療養	-	-	3.1	79.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	48.1	25.9	53.3
平均在院日数(一般病床のみ)		26.0	22.4	20.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,600,343			
1 経常収益	1,600,343			
(1) 医業収益	899,805			
(うち修正医業収益)	857,903			
入院収益	395,528			
外来収益	431,094			
診療収入計	826,622			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	73,183			
(うち他会計負担金)	41,902			
(2) 医業外収益	700,538			
(うち国・都道府県補助金)	19,790			
(うち他会計補助・負担金)	394,427			
(うち長期前受金戻入)	54,425			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,749,038			
2 経常費用	1,749,038			
(1) 医業費用	1,311,763			
職員給与費	688,416	76.5	60.8	82.0
材料費	199,495	22.2	27.1	14.2
(うち薬品費)	128,456	14.3	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,001	7.8	11.8	6.1
減価償却費	171,053	19.0	8.6	12.5
経費	249,439	27.7	22.0	34.4
(うち委託料)	79,782	8.9	11.8	16.9
研究研修費	1,627			
資産減耗費	1,733			
(2) 医業外費用	437,275			
(うち支払利息)	4,780	0.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-148,695			
純損益	-148,695			
累積欠損金	915,133			
経常収支比率	91.5		93.0	93.1
医業収支比率	68.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	65.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	48.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	27.3		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	66.6		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,046,339
1 固定資産	2,242,831
(1) 有形固定資産	2,194,595
(2) 無形固定資産	3,551
(3) 投資その他の資産	44,685
2 流動資産	803,508
(1) 現金及び預金	59,055
(2) 未収金及び未収収益	132,543
(3) 貸倒引当金()	2,386
(4) 貯蔵品	5,851
3 繰延資産	-
負債合計	1,438,764
1 固定負債	300,448
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	258,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	41,803
2 流動負債	785,748
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,733
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,315
(6) リース債務	5,564
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	55,611
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	352,568
(1) 長期前受金	1,137,307
(2) 長期前受金収益化累計額()	784,739
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,607,575
1 資本金	2,516,960
2 剰余金	-909,385
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-909,385
負債・資本合計	3,046,339
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,513	436,329
資本勘定繰入	42,797	49,514
計	298,310	485,843

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団		
病院名	市川三郷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,842 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	90	19.7	25.6	28.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	19.7	25.6	28.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	16.6	16.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,385,478			
1 経常収益	1,385,249			
(1) 医業収益	856,433			
(うち修正医業収益)	855,902			
入院収益	227,562			
外来収益	602,978			
診療収入計	830,540			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	25,893			
(うち他会計負担金)	531			
(2) 医業外収益	528,816			
(うち国・都道府県補助金)	2,690			
(うち他会計補助・負担金)	113,092			
(うち長期前受金戻入)	85,898			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	229			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,607,738			
2 経常費用	1,607,738			
(1) 医業費用	1,155,552			
職員給与費	596,294	69.6	60.8	82.0
材料費	179,464	21.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	118,726	13.9	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	60,738	7.1	11.8	6.1
減価償却費	86,334	10.1	8.6	12.5
経費	288,389	33.7	22.0	34.4
(うち委託料)	170,969	20.0	11.8	16.9
研究研修費	2,304			
資産減耗費	2,767			
(2) 医業外費用	452,186			
(うち支払利息)	2,190	0.3	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-222,489			
純損益	-222,260			
累積欠損金	1,322,223			
経常収支比率	86.2		93.0	93.1
医業収支比率	74.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	74.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	79.1		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,544,823
1 固定資産	2,082,420
(1) 有形固定資産	2,024,411
(2) 無形固定資産	14,828
(3) 投資その他の資産	43,181
2 流動資産	1,462,403
(1) 現金及び預金	803,010
(2) 未収金及び未収収益	601,961
(3) 貸倒引当金()	7,000
(4) 貯蔵品	64,386
3 繰延資産	-
負債合計	2,918,021
1 固定負債	1,147,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	536,809
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	450,069
(5) 引当金	160,923
(6) リース債務	-
2 流動負債	900,650
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	312,151
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	21,738
(5) 引当金	177,304
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	362,720
(9) 前受金及び前受収益	261
3 繰延収益	869,570
(1) 長期前受金	3,045,635
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,176,065
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	626,802
1 本金	333,008
2 剰余金	293,794
(1) 資本剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	-86,240
負債・資本合計	3,544,823
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,456	113,623
資本勘定繰入	28,583	140,970
計	187,039	254,593

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団		
病院名	富士川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,893 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	154	56.5	58.7	52.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	11.2	35.1	144.9
計	158	55.3	58.1	55.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	14.5	13.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,170,041			
1 経常収益	3,169,634			
(1) 医業収益	2,310,668			
(うち修正医業収益)	2,305,922			
入院収益	1,411,560			
外来収益	654,415			
診療収入計	2,065,975			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	244,693			
(うち他会計負担金)	4,746			
(2) 医業外収益	858,966			
(うち国・都道府県補助金)	2,766			
(うち他会計補助・負担金)	199,504			
(うち長期前受金戻入)	143,191			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	407			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,454,699			
2 経常費用	3,454,699			
(1) 医業費用	2,779,208			
職員給与費	1,504,273	65.1	60.8	69.3
材料費	445,582	19.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	166,052	7.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	279,530	12.1	11.8	9.1
減価償却費	144,000	6.2	8.6	10.8
経費	615,557	26.6	22.0	29.9
(うち委託料)	323,233	14.0	11.8	13.7
研究研修費	5,396			
資産減耗費	64,400			
(2) 医業外費用	675,491			
(うち支払利息)	1,425	0.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-285,065			
純損益	-284,658			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.7		93.0	91.6
医業収支比率	83.1		83.9	77.4
修正医業収支比率	83.0		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	85.8		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	3,544,823
1 固定資産	2,082,420
(1) 有形固定資産	2,024,411
(2) 無形固定資産	14,828
(3) 投資その他の資産	43,181
2 流動資産	1,462,403
(1) 現金及び預金	803,010
(2) 未収金及び未収収益	601,961
(3) 貸倒引当金()	7,000
(4) 貯蔵品	64,386
3 繰延資産	-
負債合計	2,918,021
1 固定負債	1,147,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	536,809
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	450,069
(5) 引当金	160,923
(6) リース債務	-
2 流動負債	900,650
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	312,151
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	21,738
(5) 引当金	177,304
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	362,720
(9) 前受金及び前受収益	261
3 繰延収益	869,570
(1) 長期前受金	3,045,635
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,176,065
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	626,802
1 本金	333,008
2 剰余金	293,794
(1) 資本剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	-86,240
負債・資本合計	3,544,823
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	292,527	204,250
資本勘定繰入	60,065	166,320
計	352,592	370,570

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。